

秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。

<http://www.city.akita.akita.jp/>



市長 佐竹敬久

## 市長のほっこりコラム

# しきたり改革のすすめ

仕事柄、いろいろな式典や会合に招かれることが多く、市民の皆様との肩ひじ張らない交流の機会にもなりますので、時間が許せば出席させていただくようにしております。

ただ、回を重ねるにつれて、いくつか疑問が生じてきたことがあります。「それが秋田のしきたりだ!」「招待される身で生意気を言うな!」という向きもあるうかと思いますが、何でも一言という、いささかへそ曲がりの意見としてご笑覧ください。

### その一 主役を第一に

来賓であつても市長や政治家は市民や県民に使ってもらっている身、あまり気を使う必要はありません。

表彰式などで、来賓として立派な控え室を用意されることが多いのですが、受賞者が廊下に立つたまま開会を待つ光景や、祝賀会で受賞者が下の席になるような光景などを間々目にしますが、まずはその式や会の主役を第一にすべきだと思います。

皆様はいいかお思いでしょうか。その二 ものを大切に

飽食の時代と言われますが、最近



式典、会合もいろいろですが...

は特に宴席での料理の残りが目立ち、また料理にタバコの吸い殻を捨てたり、宴席マナーが乱れてきています。

この一因に、宴が始まるやいなやビール瓶やお銚子を片手に注いで回る習慣がありますが、三十分位はまず同席の方と語らいながら料理に舌鼓を打つ時間があつてもよいのではと思います。最近このようなアナウンスがある気が利く宴席も見受けられますが良いことだと思います。

特に他県では宴席とは食事をする場と認識している方が多く、またお酒の弱い人からは、せつかくの美味しい料理をゆっくり味わう間もなく残念だったという声も聞かれます。

丹念に調理してくれた料理人や配膳係の人にも極めて失礼ですし、農業県秋田の人はとりわけ、食べ物は大切にすべきではないでしょうか。

### その三 人に好みを押しつけない

お酒が好きな人でも日本酒、ビール、ウィスキー、焼酎など様々です。

最近の宴席では、すべて揃っていることも多くなっていますので、勧める場合でもそれぞれの好みに合わせて勧めることが心ある態度です。

以上、「しきたり」としてあまりに普遍的になつてしまい、これを直そうなどという意見はなかなか言えないことではないかと考え、今回あえてこの欄をお借りしたわけです。

「まごころ秋田」という観光標語があります。まずは基本的な礼を大切に、相手を思いやることから始めようではありませんか。

もちろん腕より始めようですが。